

ひとあし早い「春の訪れ」 保原・大田地区仮置き場に高校生による絵画掲示



春の訪れを表現した絵画



絵画を掲示している様子



デザインの意図を説明する後藤さん

掲示式では、周辺住民を代表して保原町中村第三会長の須賀五郎さんが「きれいな大作をありがとうございます」と感謝の言葉を述べ、絵画の掲示を喜びました。

絵画は、保原駅ホームや阿武隈急行の車窓から見ることができます。

保原高校美術部が取組む「がれきに花を咲かせようプロジェクト」として、2月19日(木)、保原町内にある保原・大田地区仮置き場に、生徒が制作した絵画が掲示されました。

テーマは「春の訪れ」で、大きな1本の桜を中心に春の花々が咲き乱れ、メジロなどが賑やかに飛び回ります。デザインした1年生の後藤瑳来さんは「3月になっても住民の皆さんが震災のことを思い出さないように、明るい気持ちになれるデザインにしました。皆さんを元気づけたいと思っています」と話しました。



絵画の前で式典参加者の集合写真

放射能相談センター休業日変更のお知らせ

平成27年4月1日(水)から放射能相談センターの休業日が右記の通り変更となり、日曜日が休業となります。

☎市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003

4月1日(水)から

	開所日	開所時間
変更前	火曜日～日曜日	8:30～17:30
変更後	月曜日～土曜日	8:30～17:30

市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定)(単位:マイクロシーベルト/時間)

測定地点	3/17	3/10	2/26
伊達総合支所 正面駐車場	0.15	0.15	0.16
梁川総合支所 正面銅像前	0.15	0.15	0.16
保原本庁舎 正面駐車場※	0.21	0.21	0.22
富成郵便局 県道路肩	0.20	0.19	0.20
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.46	0.43	0.46
富成グリーンタウン タウン内公園	0.31	0.32	0.33
富成十区集会所 入口	0.54	0.51	0.54
霊山総合支所 駐車場	0.17	0.17	0.19
霊山パーキング 駐車場中央※	0.24	0.20	0.20
坂ノ上集会所 入口	0.30	0.32	0.33
八木平バス停留所 回転場中央	0.25	0.24	0.24
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.24	0.23	0.23

測定地点	3/17	3/10	2/26
下小国中央集会所 入口※	0.29	0.28	0.28
岩代小国郵便局 国道路肩	0.20	0.21	0.21
末坂バス停留所 県道路肩	0.41	0.38	0.42
大木バス停留所 県道路肩	0.19	0.19	0.19
月館総合支所 駐車場	0.14	0.13	0.14
国道399号飯館村境 国道路肩	0.36	0.36	0.33
月館相殿公民館 県道路肩	0.38	0.39	0.38
掛田上組集会所 市道路肩	0.29	0.29	0.31
掛田日向前団地 集会所前	0.24	0.25	0.26
県道臼石月館線飯館村境 県道路肩	1.03	1.13	1.04
大柳字栃窪 市道路肩	0.34	0.34	0.36

☎市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003

※市内各地域の放射線測定結果は平成27年4月以降、「だて市政だよりお知らせ版」にてお知らせします。

だて復興・再生 ニュース

自然界に存在する天然の放射能

福島第一原発の事故によって降り注いだ放射性物質は、我々に「被ばく」という健康不安を起しています。その放射性物質は、当時の気象状況等による降下量の違いがあり、県内各地で線量が高い地域や比較的低い地域などが存在します。

このたび、ようやく常磐高速道路が開通しました。しかし、双葉地区付近は1時間当たり5マイクロシーベルトと高く、除染が進んでもまだ高い地域が存在しているのが実情で、被ばくを避けるためには、そのような線量の高い所での滞在時間(線量×時間=被ばく量)を少なくするために、その付近での駐停車は禁止されています。

我々はこれまで降り注いだ放射能対策に取り組んできており、除染の進捗と時間の経過と共に線量も下がりつつありますが、依然としてその不安が一掃されたといえる状況にはありません。

一方、自然の中に在る土中の天然物質には放射能を発するものがあり、事故以前にもそうした岩石等から放射される弱い放射線による被ばくはあったし、今も変わりません。また、食物についても例えば、私達の健康に必要なカリウム(K)には放射性のものと放射能を出さないものがあり、その区別は不可能です。したがって、カリウムが含まれているバナナなどを食べれば必然的に1本のバナナで16ベクレル程度は身体に取り入れてしまうのです。もちろん健康には何の悪影響もありません。

このように、自然界には天然の放射能物質がありますから、どこにいても被ばく量がゼロということは無く、場所によってかなりの違いがあります。

先日、新聞に、世界を含む各都市の自然にある放射能の線量が記載されていました。これを見ると、事故の影響がある地区以外の日本は比較的低く、せいぜい1時間当たり、0.1マイクロシーベルト以下の0.09～0.03マイクロシーベルトですが、世界にはかなり高い所があります。例えば、オランダのロッテルダムは0.33マイクロシーベルトであり、フィンランドのタンペレは0.59マイクロシーベルトなのです。一般に、火山によって出来る花崗岩や大理石は放射性物質を多く含んでいるため、石造りの多いヨーロッパは高いと言われていています。中国の上海は何故か0.59マイクロシーベルトもありますから、日本なら除染対象ということになるのでしょうか、このような実態から、今の我々の周囲がどの程度の線量なのかを関心を持って見て行くことも必要なのではないでしょうか。

伊達市長 仁志田 昇司

だて 復興・再生最前線

梁川小学校新校舎が開校

梁川小学校の新校舎開校式が、3月2日(月)に開かれました。梁川城跡地にある旧校舎は東日本大震災により損壊したため、児童は分散授業やプレハブ仮設校舎での学校生活が余儀なくされていました。少しでも早く子どもたちの教育環境を整えようと、場所を街中に移し、地域の学びの拠点となる開放型の学校として生まれ変わりました。デザインは、梁川城の大手門を意識した石垣が特徴です。

開校式では、宍戸正幸校長が「歴史と精神を受け継いで、成長してほしい」とあいさつしました。児童を代表し6年生の佐竹ことのさんが感謝の言葉を述べ、「新しい校舎に期待がいっぱいです。第1回目の卒業生として良い思い出をたくさん作りたいです」と目を輝かせました。

現在はプールやグラウンドなど周辺設備の整備が進められ、夏休みが明ける8月末にすべての工事が完了する予定です。



梁川小学校新校舎

ホールボディカウンタ(WBC)検査の年次推移

ホールボディカウンタ検査について、今年度で3回目の実施となっています。今までの結果(第1回目～第3回目)について、お知らせします。

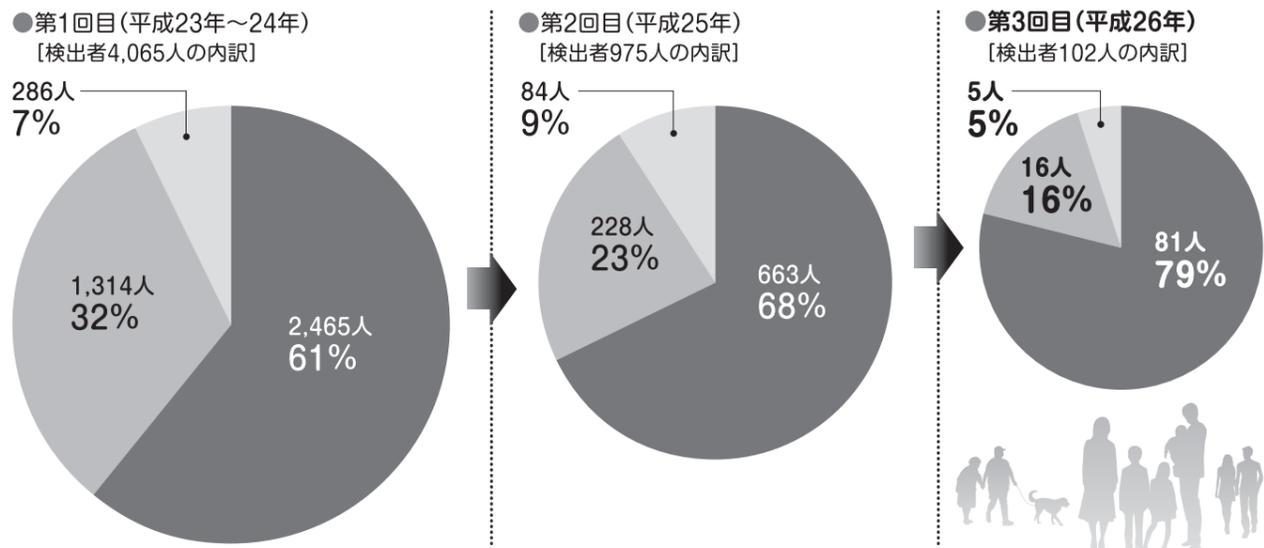
検出率は前年比で約3分の1に減少

検出者の割合(検出率)は、年々減少しています。
 ◎第1回目 9.4% [検出者4,065人/受検者43,261人]
 ◎第2回目 3.4% [検出者 975人/受検者29,020人]
 ◎第3回目 0.9% [検出者 102人/受検者11,493人]

検出値ごとの人数分布(平成27年1月末現在)

検出値ごとの人数分布では、年々低減していることが確認できます。
 「検出限界超～500Bq」をみると、第1回目は61%、第2回目は68%、第3回目は79%となっており、検出値は、より低い値に移行しています。

■ 検出限界超～500Bq ■ 501Bq～1,000Bq ■ 1,001Bq以上



[預託実効線量への換算(例)]

検出された値を例に、預託実効線量に換算すると
 (セシウム134が1,000ベクレル + セシウム137が2,000ベクレル) 検出の場合 → 0.122mSvになります。
 1mSvと比較しても10分の1程度の値となりますが、検査結果は日々の食生活の状況により異なります。
 (18歳以上の場合)

受検者11,493人全員が1ミリシーベルト未満

平成26年度では、検査対象者61,892名中、受検した11,493人の方全員が預託実効線量(※)1ミリシーベルト未満でした。

※預託実効線量/体内に取り込んだ放射性物質について、物理的半減期や生物学的半減期(尿や便により体外に排出されること)を考慮して、一生の間(成人では50年間、子どもでは70歳まで)に体内から受けると思われる内部被ばく線量。

●平成26年度の実検状況(平成27年1月末現在)

対象区分	案内者数	受検者数	受検率
18歳以下	8,916人	5,565人	62.4%
うち小・中学生	4,962人	4,770人	96.1%
19歳以上	52,976人	5,928人	11.2%
計	61,892人	11,493人	18.6%

年1回のホールボディカウンタ検査により、内部被ばくの状況を確認しましょう。

健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

ホールボディカウンタ(WBC)検査は3検査機関で受検できます



市では年1回のホールボディカウンタ検査受検をお勧めしています。
 今年度まだ受検していない人は、積極的に受検をお願いします。
 ※通知の案内期間は過ぎておりますが、随時受検することができます。

検査機関予約・お問合せ先	検査実施時間
なかのクリニック [旧中野病院] ☎573-0561	予約なし受検可能(予約者優先) 月、水、金曜日/18:00まで 火、木曜日/16:00まで
梁川病院 ☎527-0015	予約なし受検可能(予約者優先) 月～金曜日/16:30まで ※月曜日午前中は休み 土曜日/12:00まで
福島県労働保健センター(福島市) ☎554-5195	完全予約制 不定期休館日あり 月～金曜日/18:00まで 毎月2回土曜日/11:30まで 毎月2回日曜日/14:30まで

健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

福島県では避難者等を対象に県外でもホールボディカウンタ(WBC)検査を実施しています

健康福祉部 県民健康調査課 ☎521-8028 ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/>

伊達放射能健康相談窓口



放射線・放射能の不安などありましたら、何でもご相談ください。
 ホールボディカウンタ検査やガラスバッジ測定の結果に関するご相談もお受けします。

実施日	時間	場所・連絡先
4月 7日(火)	9:30～11:30	保原保健センター ☎575-1153 保原町大泉字大地内100
4月14日(火)		●予約制となりますので 事前にご連絡ください
4月21日(火)		訪問相談も行っています

◎相談員/放射線安全フォーラム会員
 半谷 輝己さん
 ※医学的なことは医師の相談会にご案内する場合があります。

健康福祉部 健康推進課 ☎575-1153

母子避難者等に対する高速道路無料措置期間の延長について

原発事故による自主避難等により二重生活を強いられている家族の再会を目的として、平成25年4月26日から平成27年3月31日まで高速道路の無料措置が実施されておりますが、このたび、無料措置期間が平成28年3月31日までになりました。
 期間延長に伴う手続きはありません。

※旧特定避難勧奨地点指定世帯も同様です。



市民生活部 放射能対策課 ☎575-1126